

令和三年高知県支部「春の俳句大会」成績

令和三年四月四日（日）

於 高知市青年センター大ホール

大会賞

柿若葉やさしき嘘をつく介護

野村里史

若き日の服並べ見る万愚説

前川恵女

母白寿いのち忘れて野に遊ぶ

亀井雉子男

秀逸

ちひろ画のやうな児を抱き春の風

小島久美子

青麦の青のやうなる一二歳

稲田喜子

山笑ふプラットホームだけの駅

近藤勝

白椿月の光を曳きて落つ

乾真紀子

蒨葎草洗へば靱のついてをり

徳廣由喜子

佳作

灯を消してよりのたまゆら春障子

東谷晴男

月おぼろ恋を育てる酒少し

田中杏

納棺の陀佛仕立や麦青む

山本あけはる

二十年亀を鳴かせてをりにけり

浜田節

海山も人も明るし土佐の春

岡崎桜雲

しやぼん玉吹くや写楽の眼して

山本敏子

気に入りの杭のあるらし紋白蝶

野田美佐子

ソメイヨシノ樹木葬にはこの一樹

平井静江

蛙塗りが難儀でしたと銃後の妻

古谷桜子

ぶらんこをしがらみ捨てる高さまで

石坂陽太郎